特集１

この一帯には、壁面に安城市ゆかりの童話作家・新美南吉が描かれた倉庫がありました。ここで市民の皆さんが安城七夕まつりの飾りを作るのが夏の風物詩でした。





安城駅南西広場、オープン。新たな物語がはじまる場所。

問▶都市計画課（☎〈71〉2243）

JR安城駅南西に、新しい広場が生まれました。

散歩の途中にふと立ち寄って、ベンチに腰かけ、風を感じながらひと息つく。

友人とおしゃべりを楽しんだり、音楽や食を味わうイベントに出会ったり。

まだ始まったばかりのこの場所は、使う人の工夫や思いによって、これから少しずつ育っていきます。

新しい物語が、これからここで紡がれていきます。







少し変わった形のベンチ。新美南吉の代表作「ごんぎつね」に登場する“ごん”のしっぽをイメージしています。物語の気配をそっと忍ばせたデザインがやさしい印象を与えています。



ベンチやトイレには木がふんだんに使われ、日常の中に自然と溶け込む温かみのある空間に。どこかほっとする居心地の良さがあり、つい長居したくなるかもしれません。









この日は、130人を超える人が植樹に参加しました。植えられた木々は、５年後、10年後には木陰をつくり、緑あふれる広場へと成長していきます。そんな時間の重なりも、この広場の大切な魅力です。













家族や友人の送り迎えには、新しく整備したロータリーをぜひ利用してください。新たな送迎スペースが加わったことで、駅前の混雑が緩和され、よりゆったりと安全に通行できるようになりました。



イベントにも使えるオープンスペースのほか、手洗い場や電源設備も整えました。マルシェや音楽イベント、地域の活動等、様々な人が集い、挑戦できる舞台として活用できます。



日が落ちると、広場は暖色系のライトに包まれます。夜間も安心して通行できるだけでなく、床材に埋め込まれた小さなガラスがきらきらと光り、昼間とはまた違った幻想的な表情を見せてくれます。

公共空間を使うことができる制度「マチナカプレイスメイキング」で南西広場を使ってみよう！

この広場の変化を、ぜひ見守っていってください

広場デザイン監修　㈱エスエフジー・ランドスケープアーキテクツ　畠田恵さん、大野暁彦さん

ベンチや灯り等を多く設置し、何気ない日常にそっと寄り添う広場を目指しました。この広場には、市内で拾い集めた種から育てた苗を植えました。苗はやがて大きく育ち、新たな風景になっていきます。その変化をぜひ一緒に見守ってください。

